環境保全と資源の最大限の活用 (バイオガスプラント)



鹿追町の概要

▶位置:十勝平野の北西部 ▶人口: 5, 619人(2, 427世帯)

▶面積:404.99km²(うち畑:30%、山林:50%、牧場:2%)

▶基幹作目: 牛乳、てん菜、馬鈴薯、小麦、豆類

▶酪農家:110戸(乳用牛:29.881頭)

≪目的≫

家畜ふん尿の適正処理及び有効活用により、環境負荷の少ない循環型農業を目指す

≪プラントの特徴≫

○国内最大級の家畜ふん尿処理施設

一日の処理量:94.8t (成牛換算で1,300頭相当)

○エネルギー製造

- -日の発電量は**約4**, 500kWh
- (一般家庭450戸分の電気使用量に相当)

○温室効果ガス削減

化石燃料の代替として使用することで温 室効果ガスが削減

○肥料 (液肥) 製造

高品質の有機質肥料である消化液を年間 約3万t農地還元



≪プラントの効果≫









東京川川東

施設內利用

うち施設内利用: 678, 488kwh 【バイオガスの利用拡大】

· 売電収入: 46. 4百万円

・年間発電量: 1,812,184kwh

・バイオマス自動車

「売雷」

一般ガス器具 等への利用に向けた実証

【農水産業への利用】

- ·熱量: 2,000,000kcal(日) 付加価値のある産品の生産 マンゴー栽培 チョウザメ飼育 (5年以内の本格出荷を目標)
- ·消化液:30,000 t (年間) 消化液の農地還元

≪今後の取組≫

- ・3.000頭規模のバイオガスプラント新設(平成28年4月本格稼働)
- ・消化液を活用した家庭園芸用液肥の開発・研究
- ・余剰熱のさらなる活用(冬期間ハウス栽培等)

【問合先】

鹿追町役場 農業振興課 環境保全センター係

TEL: 0156-66-4035